

(2009/9/4版)

### 第3回赤道大気レーダーシンポジウム 第129回生存圏シンポジウム

日時: 平成21年9月10日(木) 13:30~18:20 (懇親会 18:30~20:30)

11日(金) 10:00~16:30

場所: 京都大学宇治キャンパス木質ホール大会議室

主催: 京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

#### プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月10日

(座長: 橋口浩之)

13:30 - 13:40 あいさつ

- 赤道大気レーダー全国・国際共同利用専門委員長 山本衛(京大RISH)
- 13:40 - 14:00 熱帯圏界面遷移層内のケルビン波に伴い発生した大気擾乱の詳細構造  
妻鹿友昭・山本真之(京大RISH)・阿保真(首都大)・橋口浩之(京大RISH)・Hubert Luce(ソーロン大, フランス)・田畑悦和(京大RISH)・  
山中大学(JAMSTEC)・深尾昌一郎(福井工大)
- 14:00 - 14:20 ラジオメーターとEAR観測を用いた水蒸気の鉛直輸送に関する研究  
下舞豊志・佐藤玄一・古津年章(島根大)・橋口浩之(京大RISH)
- 14:20 - 14:40 熱帯インド洋最上部対流圏における基本場と大規模擾乱の形態  
西憲敬(京大理)・西本絵梨子・林寛生・塩谷雅人(京大RISH)・高島久  
洋(FRCGC/JAMSTEC)・津田敏隆(京大RISH)
- 14:40 - 15:00 HARIMAU2006におけるスマトラ島沿岸域における対流活動の特徴  
森修一・濱田純一・山中大学(JAMSTEC)・櫻井南海子(防災科研)・川島  
正行(北大ILTS)・橋口浩之(京大RISH)・松本淳(首都大/JAMSTEC)

15:00 - 15:20

=== 休憩 ===

(座長: 濱田純一)

- 15:20 - 15:40 Estimation of Raindrop Size Distribution Using Equatorial  
Atmosphere Radar and Boundary Layer Radar  
Mutya Vonnisa・Toshiaki Kozu・Toyoshi Shimomai(島根大)・  
Hiroyuki Hashiguchi(京大RISH)
- 15:40 - 16:00 X帯気象レーダーを用いた赤道域衛星回線伝搬路の降雨減衰推定  
宮本将佑・前川泰之・柴垣佳明(大阪電通大)・佐藤亨(京大情報学)・  
山本衛・橋口浩之(京大RISH)・深尾昌一郎(福井工大)
- 16:00 - 16:20 赤道大気・気象レーダー長期観測データを用いた西スマトラ・コトタバン  
の降水活動に関する研究  
柴垣佳明・村上和也(大阪電通大)・古津年章・下舞豊志(島根大)・橋  
口浩之(京大RISH)・濱田純一・森修一・山中大学(JAMSTEC)・深尾昌一  
郎(福井工大)
- 16:20 - 16:40 1. 3GHz ウィンドプロファイラ及びTRMM降雨レーダー観測による赤道インド  
ネシアにおける地域的な降水日変化  
田畑悦和・橋口浩之・山本真之・山本衛(京大RISH)・山中大学・森修  
一(JAMSTEC)・柴垣佳明(大阪電通大)・下舞豊志(島根大)・Fadli  
Syamsudin(BPPT, インドネシア)・Timbul Manik・Erlansyah・Wawan  
Setiawan(LAPAN, インドネシア)・Wilhelm Lasut(BMKG, インドネシ  
ア)

16:40 - 17:00

=== 休憩 ===

(座長: 柴垣佳明)

- 17:00 - 17:20 TRMMを用いたアフリカ大陸における雷活動の季節変化  
内山真悟・高橋日出男・金森大成(首都大)

- 17:20 - 17:40 インドネシア海大陸域西部の降水経年変動とENSOとの関連  
濱田純一・森修一・伍培明・山中大学(JAMSTEC)・松本淳(JAMSTEC/首都大)・Urip Haryoko(BMKG, インドネシア)・Fadli Syamsudin(BPPT, インドネシア)
- 17:40 - 18:00 西スマトラレーダー・雨量計統合降水量データ(第2.0版)の作成  
上米良秀行・増田耕一・森修一・濱田純一(JAMSTEC)・櫻井南海子(防災科研)・松本淳(JAMSTEC/首都大)・山中大学(JAMSTEC/神大)
- 18:00 - 18:20 「海大陸COE」構築始まる  
山中大学・水野恵介・森修一・安藤健太郎・石原靖久(JAMSTEC)・橋口浩之(京大RISH)・鈴木和哉(JICA)・F. Syamsudin・W. W. Pandoe・F. Renggono・T. H. Seto・Y. S. Djajadihardja・M. Sadly・J. T. Anggadiredja(BPPT, インドネシア)・E. Hermawan・T. Manik・D. Setiadi・T. Harjana・T. Djameluddin(LAPAN, インドネシア)・I. P. Pudja・D. Gunawan・E. Aldrian・Nurhayati・A. Sasmita・A. E. Sakya(BMKG, インドネシア)・他SATREPS-MCCOE推進班(JAMSTEC・東大・JICA・JST; BPPT・LAPAN・BMKG・BRKP・RISTEK, インドネシア)

18:30 - 20:30 === 懇親会 (プログラム末尾をご覧ください) ===

9月11日

(座長: 下舞豊志)

- 10:00 - 10:20 50-MHz帯レーダーで観るケルビン・ヘルムホルツ不安定の構造とダイナミックス  
深尾昌一郎(福井工大/京大RISH)・山本真之(京大RISH)・H. Luce(Universit du Sud-Toulon Var)・妻鹿友昭・橋口浩之・山本衛(京大RISH)・田尻拓也・中里真久(気象研)
- 10:20 - 10:40 レンジイメージング境界層レーダーによる大気境界層の発達を観測  
森谷祐介・橋口浩之・山本真之、妻鹿友昭・山本衛(京大RISH)・今井克之(住友電工)・足立アホロ(気象研)・柴垣佳明(大阪電通大)・H. Luce(ツーロン大, フランス)
- 10:40 - 11:00 WINDASで観測された日本上空の下部対流圏の風の日変動  
坂崎貴俊・藤原正智(北大環境)

11:00 - 11:20 === 休憩 ===

(座長: 山本真之)

- 11:20 - 11:40 気球搭載水蒸気計により観測された熱帯下部成層圏の水蒸気の季節～長期変動  
藤原正智・長谷部文雄(北大)・塩谷雅人(京大)・Holger Voemel(ドイツ気象局)・荻野慎也(JAMSTEC)・岩崎杉紀(防大)・西憲敬(京大)・柴田隆(名大)・清水健作(北大)・西本絵梨子(京大)・Jessica Valverde-Canossa(Universidad Nacional)・Henry Selkirk(U. Maryland)・Samuel Oltmans(NOAA)
- 11:40 - 12:00 成層圏QBOに於ける赤道波と3次元重力波の役割 ～高解像度気候モデルを用いた考察～  
河谷芳雄(JAMSTEC)・佐藤薫(東大理)・T. J. Dunkerton(NWRA)・渡辺真吾(JAMSTEC)・宮原三郎(九大理)・高橋正明(東大CCSR)
- 12:00 - 12:20 MST radar観測の限界  
加藤進(京大名誉教授)

12:20 - 13:30 === 昼食 ===

(座長: 藤原正智)

- 13:30 - 13:50 EARとライダーによる雲内・周辺の鉛直流観測  
山本真之(京大RISH)・阿保真(首都大)・妻鹿友昭(京大RISH)・柴田泰邦(首都大)・橋口浩之・山本衛(京大RISH)・深尾昌一郎(福井工大)・山中大学(JAMSTEC)
- 13:50 - 14:10 カリウム原子フィルターを用いた赤道対流圏の気温観測  
長澤親生・阿保真・柴田泰邦(首都大)

14:10 - 14:30 全固体CWレーザーを用いた中間圏界面温度の計測  
阿保真・長澤親生・柴田泰邦(首都大)

14:30 - 14:50 === 休憩 ===

(座長: 山本衛)

14:50 - 15:10 Co-ordinated radar and radio beacon observations of large-scale wave structure and Equatorial spread F from Bac Lieu and Kototabang - First results -

Smitha V. Thampi・Mamoru Yamamoto(京大 RISH)・Roland T. Tsunoda(SRI, USA)・Yuichi Otsuka(名大 STE)・Takuya Tsugawa・Jyunpei Uemoto・Mamoru Ishii(NICT)

15:10 - 15:30 Equatorial F-region as an indicator of prompt penetration electric field

N Balan, K. Shiokawa, Y. Otsuka and T. Kikuchi(名大 STE)

15:30 - 15:50 Variability of equatorial plasma bubbles and spread-F

N Balan, K. Shiokawa, and Y. Otsuka(名大 STE)

15:50 - 16:10 赤道大気レーダーで昼間に観測された高度150kmの沿磁力線不規則構造の統計解析

水谷徳仁・大塚雄一・塩川和夫(名大 STE)・横山竜宏(Cornell大)・山本衛(京大 RISH)・Patra Amit K. (NARL)・丸山隆・石井守(NICT)

16:10 - 16:30 電離圏沿磁力線不規則構造のVHFレーダー観測及びファブリ・ペロー干渉計開発の現状

大塚雄一・塩川和夫(名大 STE)・小川忠彦(NICT)・Effendy(LAPAN)

-----  
お願い

(1) 懇親会について

参加費: 一般: 4,000円、学生: 2,000円 (予定)

会場: 京都大学宇治キャンパス生協2階

申込み: 当日、受付にて出欠をお知らせ下さい

(2) 宿泊情報

開催場所に最も近いビジネスホテル

宇治第一ホテル (TEL: 0774-20-3333)

(3) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口(hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp)まで御連絡下さい。

(4) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

用紙: A4縦

ページ数: 4~8ページ

原稿締切: 2009年10月31日(土)

送付方法: WORDまたはPDFファイルを電子メールにてお送り下さい

あて先: 電子メール: ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学生存圏研究所 橋口浩之

電話 0774-38-3819

備考: 白黒印刷で作成します。図面・写真は網掛け処理をお願いします。